



社会福祉法人 松柏児童園



# 西台こども館

平成 25 年 2 月

第 9 号

〒174-0045 東京都板橋区西台 1-27-10 電話：03-5920-1122、Fax：03-5945-4152

HP： <http://shouhaku.jp/> E-mail： [info@shouhaku.jp](mailto:info@shouhaku.jp)

編集・発行 西台こども館

## □法人名「松柏児童園」の由来□□□□□□□□□□□□□□□□

「松柏(しょうはく)」とは、常緑針葉樹の総称です。

古くから「松柏(しょうはく)」は、「厳冬期でも緑をたたえ凛<sup>りん</sup>としている松柏のように、逆境にあっても堂々と逞しい」様を表現する語句として使われています。

春から夏はすべての樹木が青々と茂っていますが、寒さの冬には多くの樹木はその葉を落とし、枯れ枝をさらしてしまいます。しかし、「松柏(しょうはく)」だけは雪の中にも緑を保ちキラリと輝いています。人は生きていく中で、良いときも悪いときもあります。良い時には誰もが生き生きとしていますが、調子が悪くなりつらくなると皆、元気がなくなりしおれた植物のように下を向いてしまいます。

西台こども館のこどもたちには、いつでも何があっても青々と茂る「松柏(しょうはく)」のようにすくすくと逞しく成長してもらいたいという思いから「松柏児童園」と名づけられました。

このような想いを受け継ぎ、日々こども達に寄り添い、たくましい、大きな希望をもった「松柏」になるよう支援していきたいと思っています。

西台こども館 園長 齋藤 学



# さまざまなトレーニングに取り組んでいます

## 10/12 救命救急講習

平成24年10月12日「救命救急講習」 職員受講  
板橋区志村消防署の救急救命士の方を講師にお招きして、心臓マッサージやAEDの使用方法について訓練を行いました。



人口呼吸はしなくてもよいのだそうです。ひたすら正しい心臓マッサージとAEDを！



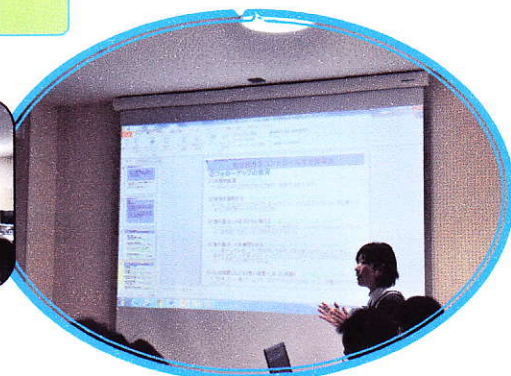
## 10/18 11/15 共感疲労援助者支援 研修

援助者支援はこども支援。  
共感疲労と共感満足のバランスによってバーンアウトへのリスクが変化していく。 社会事業大学 藤岡 孝志教授



## 12/6 CSP研修 自分自身をコントロールする教育方

マルチトリートメント防止に関連してCSPトレーナーの職員（津田）による研修。まずは自分が落ち着く。いろいろな場面でどのようにこどもに接したらよいのかを学びました。



## 12月6日 東京都 権利ノート 配布説明

12月6日  
東京都育成支援課 権利擁護担当係長 西川さん、施設係小西さんが来園。  
ホールにあつまった子ども達に「児童の権利について」の話しをしていただきました。



## 避難場所について

西台こども館では毎月災害を想定した緊急避難訓練を行っています。実際に避難が必要な災害がおきた場合には園の敷地内に一時避難をします。その後必要に応じて板橋区指定の避難場所（志村第五小学校）や広域避難場所（都立赤塚公園）に避難します。



## 「私の未来」

中学1年

FA

私の未来はまだ決っていない。中学一年になっても未来予想図はいつこうに決めていない。

私は未来を読む能力があったとしても、私はその能力を絶対に使わない。なぜか？

それは未来を知ってしまったら絶っっっ体につまらない、死ぬほどつまらない。

私は今日の前にある事をやって未来へ歩んで行くが、これから先の未来の自分も夢は決めてはいないだろう。なぜか？それはほどほどに面白くて自分に合った会社があったら入っていると思うからだ。(たぶん)

でもいいかげんに将来の夢を決めようかななんてたまに思っている。だけど、なかなか夢は決らず、考えても途中でどうでもよくなってしまふ。

大人になったら簡単に逃げるなんてできないだろう。だから逃げる事のない大人になるためにどんな事にも逃げずに立ち向かってやっていきたい。どんなに想像したって未来は変わらないし、知らない。今はどんなつらいことが待っていようと未来のことは考えずに私は今日の前にあることをやって逃げずに真正面から立ち向かってどんな運命にも打ち勝って今見えることをやっている！！

伊達巻は子ども達  
と作りました



平成 25 年 巳年 元旦  
調理さん手作りのおせち  
料理をいただきました。



### 新たに入職した職員

児童指導員 (平成 25 年 1 月採用)

松田知佳

はじめまして。思いきって長崎から転職してきました。手探りの毎日ですが、一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願ひします。



### ボランティアさん

いつもお世話になっているボランティアさん

- ★ (遊びボランティア) 3名
- ★ (カットボランティア) SANs FINの皆様
- ★ (習字ボランティア) 高木さん
- ★ (ピアノボランティア) 鈴木さん
- ★ (絵画ボラ) 強さん
- ★LG エレクトロニクスジャパン株式会社ヤングボードの皆さん、そしてデービットさん

ボランティアのお問い合わせは、津田 川口まで



英語で遊ぼう  
デービットさん



こども館 書き初め大会！  
習字ボラの高木さんに教えていただいています。

11月10日 漢字検定 合格者

6級 SRさん MYくん 7級KHさん TSくん

8級 YIさん 9級 KKくん TMさん FRくん

10級 FHくん

主なできごと(平成24年10月～25年2月)

ワッショイ  
ワッショイ!



美味しかったです  
ありがとうございました。



- 10月13日 天祖神社例大祭でのお神輿



- 10月17日「英語で遊ぼう」デービットさん  
志村第五小学校のPTA主催 行事に参加



- 10月31日 創志学園大橋理事長先生からのハロウインのお菓子が届く



- 11月1日 吉祥天鳳みのり太鼓  
太鼓フェスティバル

- 11月3日 東京海上日動サッカースクール御招待

- 11月4日陣馬山登山



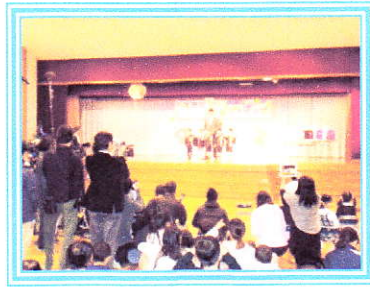
ボールを追いかけるの  
って楽しい!

- 11月17日みんなでお庭の掃除をしました



落ち葉の掃除は大変  
でも楽しいんだ。

- 11月24日 読売巨人軍 内海選手
- ランドセル ありがとうございます



- 11月25日江戸っ子杯サッカー大会



- 11月27日LG電子
- ヤングボードの皆様
- お掃除ボランティアにきていただきました

- 12月25日 クリスマス会

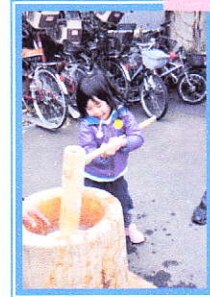
Aくんバンド  
もりあがりました！



- 12月26日 みんなで大掃除



- 12月28日おもちつき



- 1月23日
- 吉祥天鳳みのり太鼓 たいこ演奏会



ありがとうございました (平成 24 年 10 月～25 年 2 月)

《寄付金》

駒林素行、立澤岫子、板橋区社会福祉協議会、佐藤正昭、伊藤康治、新井隆司、安井豊明、朝日税理士法人、井出隆雄、小谷恭一、安部徹、

《寄贈品》

中條鉄子、田中亮子、木下和子、山内住子、内海哲也ランドセル基金、全国シャンメリー共同組合、(株)チュチュアンナ、(株)プレナス、毎日新聞東京社会事業団、ぶさいく農園 立澤亮、三菱UFJ信託銀行、(有)おぎの、創志学園大橋博・大橋節子、山口のおばあちゃん、佐藤正昭、山田登、松田利之、新井希衣子、宮嶋宏幸、湯本善之、伊藤康治、日本鏡餅組合、メリーチョコレートカンパニー、三菱東京UFJ銀行、田中亮子、シダックス(株)、(株)ヴァリオスエンタテイメント、LGエレクトロニクス、(株)ヒト・コミュニケーションズ、(株)ニトリ、オクトパストラベル、「こどものための柴基金」柴俊夫、(株)エスプランニング、東京馬主協会、朝日新聞出版、セカンドハーベスト・ジャパン

《招待》

東京都個人タクシー協同組合板橋第一支部、LGエレクトロニクスジャパン、ROCK STAR R 有限会社(コンドルズ)、吉祥天鳳みのり太鼓、東京海上日動サッカースクール

(順不同・敬称略)

● 西台こども館児童在籍状況(平成 25 年 2 月 7 日) 定員 40 名 現員 40 名

	3 未	年 少	年 中	年 長	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	計
男		1	1	3	2	1	1	0	5	0	1	1	2	2	1	0	21
女	1	2	1	2	1	1	3	0	2	2	2	0	0	2	0	0	19
計	1	3	2	5	3	2	4	0	7	2	3	1	2	4	1	0	40

西台こども館在籍職員一覧(平成 25 年 2 月 7 日現在)

【園長】齋藤、【事務長】竹田、【事務】岸本、【統括主任】津田、【FSW】森脇、【心理】田中

【ユニット担当】

「かしわ」石川・一ノ瀬・太田・越 「まつ」西松・高橋・小松

「もみじ」堀欠・吉江・飯尾 「いちよう」坂本・野呂・石井

【フリー】松山・山野・松田

【自立支援コーディネーター】木村 【栄養士】丸山 【調理師】田島・高山・相馬・水殿

【専門機能強化】立澤(医師)、川口(児童指導員)、田村・内藤(治療指導員)

(アルバイト・パート)内田・佐々木・渡部・岩上 (嘱託医)大山

【産休】大貫 鈴木



臨床道化師（クリニクラウン）ってなに？

臨床道化師（クリニクラウン）とは、病院を意味する「クリニック」と道化師を示す「クラウン」を合わせた造語です。入院生活を送る子どもの病室を定期的に訪問し、こども達の成長をサポートしながら笑顔を育む道化師のことです。

こども達に向き合う姿勢、考え方など参考になる一冊です。是非ご一読を！

著者：塚原成幸（特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会・編



5年SRさん



3年 UUくん



玄関前でこんな 遊びもやってます。  
「ダンボール キャタピラー」  
ごろ ゴロ GORO。

小学校の書き初め大会で 銀賞をとりました。

園内の習字教室で一生懸命に練習した成果が表れました。おめでとう！

**編集後記：**「笑わせ上手ではなく、笑い上手な人生を生きたい」とはクリニクラウン協会事務局長塚原氏の言葉です。「疾患症状に焦点をあてるのではなく、その子の存在と瞬間を尊重する」という言葉に強くひきつけられました。強く生きるとは……。園で生活する子ども達と接する中で、考えさせられる本との出会いでした。齋藤